



球体関節人形 舞乙女素体

ORIGINALDOLL



取扱説明書

目次

お取り扱い上のご注意	2
パーツ構成	3
お取り扱い方法	5
仕様	7

お取り扱い上のご注意

Notice

- このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。
破損を防ぎ、長くご愛用いただけるよう、本書をよく読んでからご使用下さい。
- ▼本製品はウレタン樹脂のレジンキャスト製です。製法上気泡が混入していることがありますのでご了承下さい。
- ▼レジンキャストの性質上、経年劣化による変形、変色が出てくる可能性があります。また、製造からしばらくはレジンキャスト特有のにおいが残ります。
- ▼パーティングライン付近が黒く変色する場合がありますが、汚れが付着しているだけです。軽く湿らせた布などで拭き取って下さい。
- ▼指先など細いパーツは扱い方によっては折れてしまうことがあります。無理な力を入れて扱わないようご注意ください。
- ▼膝カバーパーツ（上、下）には関節保持のための細いピンがありますが、これらのパーツを動かす際にはピンを穴から浮かせるようにしてから行うようにして下さい。万が一折れてしまった場合は、ピンの根元を除去し1mmの穴をピンがあった場所に開けてプラ丸棒（太さ1mm）を差し込み瞬間接着剤で固定することで修復が可能です。
- ▼ゴムひものテンションを回復させるには、ヘッド内部の結び目を押さえつつゴムひもを引っ張る、あるいは一旦結び目を解き、ゴムひもを引っ張ってから再度結びなおします。
ゴムひもをひっぱる際には、つま先、指など末端部分を引っ張ってから行うとゴムひものテンションを均等にし、テンション調節がしやすくなります。
- ▼服は市販の1/12用のもの、靴は1/6～1/12用のものをご利用いただけます。
ただし、ソフビ製の余裕のないサイズの靴を履かせると脱がせにくい場合があります。この場合は足首部分を持って靴を伸ばすようにして脱がせて下さい。
それでも脱げない場合は靴をドライヤーなどで温めて柔らかくしてから試して下さい。
- ▼その他お気づきの点、ご意見、ご要望はメール、BBSまでよろしくお願いします。

▼ 頭部構成

・顔

後頭部のツメにひっかけて固定します。ドールアイ固定パーツも付属しますが、お好みにより粘土、バテ等もご利用下さい。

・顔（開口）

口を少し開いた状態の交換用顔パーツです。お好みにより、通常の顔パーツと使い分けて下さい。

・歯

口からのぞく歯のパーツです。
顔（開口）パーツの裏面から差込みます。

・後頭部

首関節の球受け、耳固定用の溝、顔パーツ固定用のツメがあります。

・耳

ゴムひも通し用の穴（中央が腕部ゴムひも用、その左右が脚部ゴムひも用）があります。ヘッドから外した状態でゴムひもを結び、後頭部へ取り付けます。

▼ 首部構成

・首関節球

軸付きの球パーツです。スリットの角度を調節しつつ可動させて下さい。

・首

首関節球受け、肩関節球受けがあります。鎖骨肩甲骨パーツと合わせて動かすことで、前後左右へ可動します。

・鎖骨肩甲骨

肩関節球と肩関節軸受けがあります。球関節により肩が上下、前後へ可動します。

関節がゆるい場合は瞬間接着剤を少量流して固くする方法が有効です。

▼ 胸部構成

・胸

首パーツ受け、胴パーツ受けがあります。

・胴（上）

上部に胸下関節可動用のスリット、下部に胴関節受けがあります。

胸下関節はスリットに沿って前後左右に可動します。また水平回転も可能です。

・胴（下）

上部に胴関節軸、下部に胴内部関節受けがあります。

胴関節は水平に回転が可能です。

・胴内部関節（上）

胴パーツ下部を前後に倒すことで胴パーツから引き出されます。

・胴内部関節（下）

胴内部関節（上）とは真ちゅう線で接続されます。

・腰関節

胴内部関節（下）の受けがあります。

このパーツ自体を回転させ腰を左右に可動させます。

▼腕部構成

・肩関節

リング状パーツに軸がついた形状のパーツ。軸が鎖骨肩甲骨パーツに接続されます。

肩の可動の要となります。

・手首球

穴の大きい方が手のひら側、小さい方が下腕側となります。

・手のひら

手首球受け、親指受け、指関節受けがあります。

・指関節

楕円形の円筒リング状パーツです。指パーツとは真ちゅう線で接続されます。

・肩

肩関節パーツ受けと上腕パーツとの接続軸があります。

・上腕

肩パーツの軸受け、肘パーツの受けがあります。

・肘

上腕、下腕の関節があります。

・下腕

肘パーツ受け、手首球受けがあります。

・指(握り)

握りのほか、軽く曲げたもの、伸ばしたものがあが必要に応じて交換します。

▼腰部構成

・腰

腰関節受け、おしりパーツ受けがあります。

・おしり

股関節受けと腰パーツとの接続部があります。

・股関節

肩関節球と肩関節軸受け、股関節球受けがあります。

▼胴部構成

・腿カバー

スライドして関節部を隠すカバーパーツです。

・膝上カバー

下にスライドして膝関節を隠すカバーパーツです。加えて、膝関節を固定するストッパーもあります。

・膝下カバー

上にスライドして膝関節を隠すカバーパーツです。

・すね

膝関節受け、膝下カバー収納溝、足首球軸受けがあります。

・つま先

かかとパーツとは真ちゅう線で接続されます。

・股関節球

軸付きの球パーツです。スリットの位置を調整しつつ可動させて下さい。

・大腿

股関節球の軸受け、腿カバーのスライド溝、膝関節受け、膝上カバー収納溝があります。

・膝関節

膝の上側関節、下側関節があります。下側関節は正座など膝を深く曲げる際に使用します。

・ふくらはぎカバー

膝パーツの脱落を防ぐカバーパーツです。

・足首球

軸付きの球パーツです。

・かかと

足首球受け、つま先関節軸があります。

▼頭部



・頭部の可動

首関節球を中心に、あごを引く、上げる、首を左右に傾ける、左右への回転が可能です。

首関節球のスリット方向で可動範囲が変わるので、向きに注意し、必要であれば首関節球を直接動かして角度を調整して下さい。

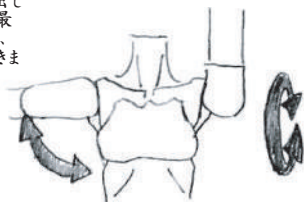
▼首・肩

・首の可動

肩関節球を中心に、首を前後に傾けることが可能です。

ただし、鎖骨肩甲骨パーツの状態（肩を前に出す、あるいは後ろにやる）によって可動範囲が変わります。

具体的には、肩を前に出した状態（左右の鎖骨が最接近している状態）では、首を前に傾けることができません。



・鎖骨肩甲骨の可動

内部の肩関節球を中心に、肩を前後に出す、肩を上げる、下げることが可能です。

・肩の可動

肩関節の軸を中心に上下への回転可動、横方向への腕の上げ下げが可能です。

横方向への可動の際は、肩を横にひっぱるようにして内部のゴムひもの位置を動かしてから角度調節すると動かしやすいです。

また、腕を90度上げて横に開く場合（力こぶを作るポーズなど）は、肩関節軸で90度腕を上げてから肩関節軸を引き出してから腕を開き戻すようにするとしっかり開いた状態で保持することができま

▼腕・肘・手

・腕の可動

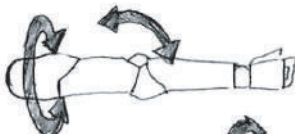
肩の軸を中心に、上腕での回転が可能です。

・肘の可動

二重関節となっており、肘の上下でそれぞれ曲げることが可能です。

・手首の可動

手首球を中心に、水平方向への回転、手の前後左右へのひねりが可能です。



・指（親指）の可動

手のひらを軸に親指付け根での回転が可能です。

・指（親指以外）の可動

中指、薬指下の指関節軸での指の開閉が可能です。

お取り扱い方法

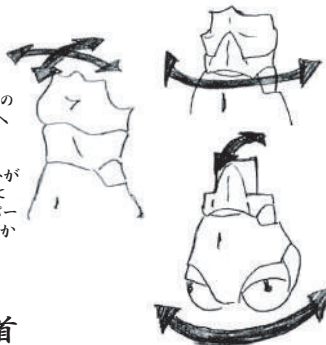
How to use

▼胸・胴・腰

・胸部の可動

胸下の関節で、前後へのうつむき、仰向け、左右への傾けが可能です。

胴（上）パーツのスリットがある方向（前後左右）に大きく動かし、胴（上）パーツの角を胸パーツにひっかけるようにします。



・胴部の可動

胴（上）パーツを軽く引き上げながら左右にひねり、ピンを胴（下）パーツの穴にひっかけるように固定することで胴の水平方向の回転が可能です。

・腹部の可動

内部関節を引き出すように前後へ大きく動かすことで、かがみ、のけぞりが可能です。

・腰の可動

腰関節でおへそ付近を中心とした垂直方向の回転により、左右への傾けが可能です。

▼股関節・膝・足首

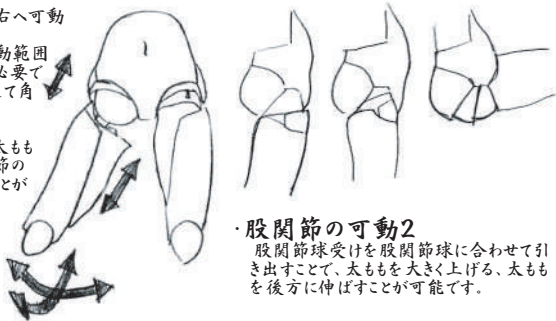
・股関節の可動1

股関節球を中心に、前後左右へ可動します。

股関節球のスリット方向で可動範囲が変わるので、向きに注意し、必要であれば股関節球を直接動かして角度を調整して下さい。

また、股関節球の軸に沿って太ももパーツを引き出すことで、股関節の可動範囲を若干向上させることができます。

太もも内側は独立して上下へスライド可能で、股関節を動かす際には下にスライドし、動作後に上にスライドすることで関節部を目立ちにくくすることができます。



・股関節の可動2

股関節球受けを股関節球に合わせて引き出すことで、太ももを大きく上げる、太ももを後方に伸ばすことができます。

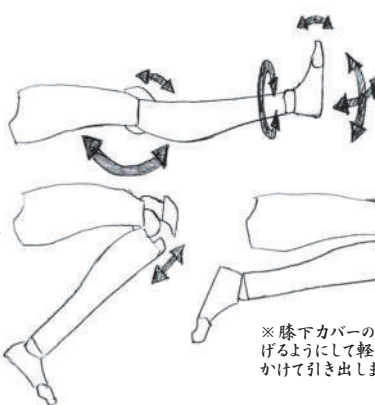
・膝の可動

膝関節の内筒部を中心に90度前後までの膝可動が可能です。

膝可動後、膝上カバーを引き出し、膝関節の隙間に配置して膝のラインが崩れないようにします。

また、膝上カバーの裏にあるピンを膝関節のスリット部にひっかけることで膝を深く曲げた状態で保持させることが可能です。

さらに、膝下カバーを引き出し膝関節下部を中心に引き起こすことで、膝をより深く曲げた状態で保持させることが可能です。



・足首の可動

足首球とその軸を中心に足首の水平回転、前後左右へのひねりが可能です。

・つま先の可動

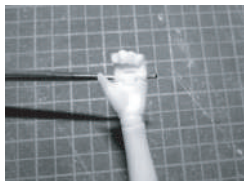
つま先の軸を中心につま先の曲げ伸ばしが可能です。

※膝下カバーの引き出しは、指の腹で押し上げるようにして軽く引き上げ、左右の溝に爪をかけて引き出します。

お取り扱い方法

How to use

▼指の交換



1. 指を交換するには、まず手のひらとの境目付近にある真ちゅう線を、千枚通しなど先の細いものを使って押し出して引き抜きます。
2. 真ちゅう線を引き抜くと、指パーツが取り外せます。小さいパーツですので紛失しないように注意して下さい。
3. 取り付けたい指パーツの四部分に指関節を差し込んだ状態で指パーツに空いた穴をのぞき穴が貫通していることを確認し、真ちゅう線を差し込み軽く押し込んでいきます。



※ 注意

真ちゅう線がうまく入らない場合は無理に押し込まず、指関節パーツを千枚通しなどで引っ張り出してつまみ、その状態で指パーツを「取り付け3.」の手順で真ちゅう線を押し込みます。

それでもうまくいかない場合は、指パーツの穴を四側から少し広げて下さい。

▼顔の着脱



1. 顔パーツを取り外す場合は、あご部分に指をかけ、頭頂部の合わせ目を中心に前方に押し上げるようにして持ち上げます。
2. 顔パーツを取り付ける場合は、後頭部側の下側の2つのツメを顔の裏側の穴に差込み、そこを中心に頭頂部のツメを差し込むように顔パーツをはめ合わせます。

仕様

Specifications

製品名	球体関節人形・舞乙女素体
全高	約150mm（ヘッド含む）
材質	ウレタン樹脂レジンキャスト、真ちゅう線、プラ棒、ゴムひも
付属品	ダミードールアイ（肌色、白色各1組）・ドールアイ押さえパーツ・交換用指パーツ3種・左右分計6個

天っ乙女

1/6DOLL ,MiniSuperDollfie ,PocketFairy ,ORIGINALDOLL

うえのまさひろ

URL : <http://earthgale.ram.ne.jp/DOLL/>

e-mail : uenoma@saturn.dti.ne.jp